



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年12月16日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 関根 秀利 (TEL) 0277-54-7101
 四半期報告書提出予定日 2020年12月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,231	△27.9	△508	—	△449	—	△708	—
2020年3月期第2四半期	21,132	1.2	434	△48.6	356	△60.3	235	△69.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △624百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 48百万円(△89.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△473.22	—
2020年3月期第2四半期	157.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	38,623	15,749	39.8	10,259.67
2020年3月期	42,546	16,545	37.9	10,784.95

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 15,356百万円 2020年3月期 16,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期(予想) 期末配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,300	△15.6	△400	—	△200	—	△1,440	—	△962.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	1,553,323株	2020年3月期	1,553,323株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	56,534株	2020年3月期	56,450株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	1,496,831株	2020年3月期2Q	1,496,902株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による経済活動の自粛などにより消費が大幅に減少しました。足下では経済活動の動き出しは見られますが、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の終息は見えておりません。世界経済についても、各国が感染予防と景気回復の両立の政策を講じる中で、中国ではいち早く景気回復も見られましたが、新型コロナウイルス感染症拡大前の景気水準に回復するには時間を要するものと見込まれています。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりましたが、当第2四半期連結累計期間における売上高は、15,231百万円と前年同期と比べ5,900百万円の減少(前年同期比27.9%減)となりました。また、営業損失は508百万円(前年同期は434百万円の営業利益)、経常損失は449百万円(前年同期は356百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は708百万円(前年同期は235百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、国内・海外とも売上高が減少しました。

その結果、売上高は10,256百万円と前年同期と比べ5,245百万円の減少(前年同期比33.8%減)となり、セグメント損失は385百万円(前年同期は602百万円のセグメント利益)となりました。

② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、中国や韓国、台湾など、新型コロナウイルス感染症がいち早く収束方向となった国々の半導体関連、医療機器・衛生製品関連の回復や、ロボット、工作機械、スマホ・PCなどの電子機器の製造装置全般投資の加速によりモーター用が好調であったものの、前期からの米中貿易摩擦問題による景気低迷に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、変・減速機、昇降・運搬業界向けの売上が減少となりました。

その結果、売上高は4,456百万円と前年同期と比べ525百万円の減少(前年同期比10.5%減)となりましたが、機種構成の影響や固定費削減により、セグメント損失は139百万円(前年同期は210百万円のセグメント損失)となりました。

③ その他

その他では、売上高が518百万円と前年同期と比べ130百万円の減少(前年同期比20.1%減)となりました。セグメント利益は16百万円と前年同期と比べ26百万円の減少(前年同期比62.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、受取手形及び売掛金の減少等により23,999百万円(前期末比4,181百万円減)となりました。固定資産は主に、投資その他の資産の増加等により14,624百万円(前期末比259百万円増)となりました。その結果、資産合計は38,623百万円(前期末比3,922百万円減)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、電子記録債務の減少等により17,503百万円(前期末比3,281百万円減)となり、固定負債は主に、繰延税金負債の増加等により5,371百万円(前期末比154百万円増)となりました。その結果、負債合計は22,874百万円(前期末比3,126百万円減)となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の減少等により15,749百万円(前期末比796百万円減)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は195百万円(前年同期は495百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失449百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,067百万円(前年同期比617百万円減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,028百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は76百万円(前年同期比151百万円減)となりました。これは主に配当金の支払い等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づいて算出した業績予想を公表いたします。

詳細につきましては、本日(2020年12月16日)公表いたしました「2021年3月期通期業績予想及び特別損失の計上見込みに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,486	6,077
受取手形及び売掛金	8,617	6,484
電子記録債権	2,389	2,015
商品及び製品	3,862	3,423
仕掛品	2,969	3,007
原材料及び貯蔵品	2,310	2,496
その他	698	587
貸倒引当金	△153	△93
流動資産合計	28,180	23,999
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,303	4,179
その他(純額)	7,629	7,625
有形固定資産合計	11,932	11,804
無形固定資産		
その他	698	728
無形固定資産合計	698	728
投資その他の資産	1,733	2,091
固定資産合計	14,365	14,624
資産合計	42,546	38,623
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,997	2,899
電子記録債務	4,731	3,156
短期借入金	9,760	9,841
未払法人税等	72	71
賞与引当金	316	167
その他	1,905	1,367
流動負債合計	20,784	17,503
固定負債		
長期借入金	3,436	3,405
繰延税金負債	289	554
役員退職慰労引当金	763	767
退職給付に係る負債	175	173
資産除去債務	15	15
その他	534	455
固定負債合計	5,216	5,371
負債合計	26,001	22,874

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,823	1,823
利益剰余金	12,977	12,119
自己株式	△351	△351
株主資本合計	16,308	15,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266	547
為替換算調整勘定	△438	△650
退職給付に係る調整累計額	6	9
その他の包括利益累計額合計	△165	△93
非支配株主持分	401	392
純資産合計	16,545	15,749
負債純資産合計	42,546	38,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	21,132	15,231
売上原価	17,970	13,381
売上総利益	3,161	1,849
販売費及び一般管理費	2,726	2,358
営業利益又は営業損失(△)	434	△508
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	26	25
不動産賃貸料	37	36
雇用調整助成金	—	74
その他	55	71
営業外収益合計	133	224
営業外費用		
支払利息	84	82
手形売却損	2	2
為替差損	53	16
貸倒損失	42	24
その他	26	38
営業外費用合計	210	165
経常利益又は経常損失(△)	356	△449
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	356	△449
法人税、住民税及び事業税	101	82
法人税等調整額	△14	157
法人税等合計	87	239
四半期純利益又は四半期純損失(△)	269	△689
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	19
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	235	△708

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	269	△689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	280
為替換算調整勘定	△249	△218
退職給付に係る調整額	15	2
その他の包括利益合計	△221	64
四半期包括利益	48	△624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25	△637
非支配株主に係る四半期包括利益	23	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	356	△449
減価償却費	733	751
のれん償却額	12	13
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△142	△29
賞与引当金の増減額(△は減少)	17	△149
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	12	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6	△1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17	3
受取利息及び受取配当金	△39	△41
支払利息	84	82
為替差損益(△は益)	15	25
売上債権の増減額(△は増加)	△345	2,335
たな卸資産の増減額(△は増加)	467	86
仕入債務の増減額(△は減少)	△742	△2,565
その他	375	△127
小計	794	△70
利息及び配当金の受取額	37	40
利息の支払額	△84	△82
法人税等の支払額	△252	△82
営業活動によるキャッシュ・フロー	495	△195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,587	△1,598
定期預金の払戻による収入	1,582	1,594
有形固定資産の取得による支出	△1,192	△1,028
有形固定資産の売却による収入	—	7
投資有価証券の取得による支出	△61	△2
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	—	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△380	—
その他	△44	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,685	△1,067
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,291	4,576
短期借入金の返済による支出	△4,701	△4,462
長期借入れによる収入	—	655
長期借入金の返済による支出	△581	△580
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△149	△149
非支配株主への配当金の支払額	△2	△22
その他	△86	△94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△228	△76
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67	△72
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,486	△1,412
現金及び現金同等物の期首残高	5,375	5,849
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	102	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,992	4,436

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,501	4,981	20,483	648	21,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	19	63	—	63
計	15,545	5,001	20,547	648	21,195
セグメント利益又は損失(△)	602	△210	391	42	434

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	391
「その他」の区分の利益	42
四半期連結損益計算書の営業利益	434

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間の期首から、新たに持分取得した砂永精工電子(東莞)有限公司並びに重要性が増した株式会社三泉及びオグラクラッチ・フィリピン, Inc. を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は「輸送機器用事業」で103百万円、「一般産業用事業」で100百万円、「その他」で19百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,256	4,456	14,712	518	15,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	2	11	—	11
計	10,264	4,459	14,724	518	15,242
セグメント利益又は損失(△)	△385	△139	△524	16	△508

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△524
「その他」の区分の利益	16
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△508

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。